

中国南部貴州省の少数民族の人たちとその生活

長岡 正利

中国の貴州省は、雲南省から東方の湖北省に向かって低くなる、
標高1000m前後の、雲貴高原と呼ばれる起伏に富んだ山地になっ
ています。

貴州省の広域には古生代の石灰岩が分布して、中国有数のカル
スト地帯(中国南方カルスト)となっており、一部は世界遺産に登
録されています。大きな平地がないことから、「地に三里の平地無
し」と言われ、全域が亜熱帯高原であるため、極端な暑さ寒さは
ないものの、降水量は多く、晴天の日が少ないことから、「天に
三日の晴れ無し」。僻遠のこの地は、昔は貧しかったがゆえに、
「人に三銭の金無し」。

すばらしい自然に恵まれ、今は、近代化進展の中での心暖かな人達の地です。



(中国「貴州省」の位置)



貴州省の省都・貴陽市には、明の
萬曆帝の時代に、「科挙」合格者が
出ること祈念した高秀楼が現存。

市街地から離れた農山村にも、
突然に高層ビル群が出現。

山間部が多く、農耕地の殆どは
見事に作られた棚田。
(日本でも、むかし、よく見た風景。)

少数民族「苗(Miao)族」の一聚落。
下写真の「黔东南苗族侗族自治州
雷山県 郎徳苗寨」で。

貴州省の人口は約3620万人で、漢族が64%(約2320万人)。少数民族で多いのは 苗族430万人で、
以下、布依族290万人、侗族180万人と続きます。省面積の1/2以上が少数民族の自治区域となっ
ています。〔以上の統計データの出典は下記に。〕

秘境の名の高い貴州ですが、省都・貴陽は昆明などからの全国高速鉄道網に組み込まれ、全国土に
広がる五縦七横の国家級高速道路のほか、省級の高速度もあって、小規模聚落にも舗装道路が通じ
ています。

今回は、幾つかの少数民族の人たちと、その生活を紹介します。なお、民族
が同じでも、その聚落(寨;村)が違えば、人々の装いなどは違うのが普通です。
下は、苗族の「郎徳」村にての。



村の入り口で、歓迎の蘆笙演奏。
(貴州省の「郎徳苗寨」で。)



広場の中央での蘆笙。重低音の
大笙から、旋律演奏の小型まで。
昔が想われる懐かしいメロディの。



蘆笙を囲み、総出での旋廻。



村へ入る前のお酒でのお出迎え

【参考資料】「貴州省日本観光センター」ホームページ；綺麗な写真もご覧になれます。
中文版Wikipediaの「貴州省」と、Web「人民網」中文版トップから、「地方」→「黔」→「貴州省」